

◎住民ができる土砂災害への備え

- ・地域の特徴を知り、避難所以外の避難先も確保しておく
- ・雨の降り方などが普通でない場合、自主的に避難する
- ・避難できない場合は、2階に上がるか、斜面から遠くの部屋へ

広島市の土砂災害は、左側が、指舟割れ。右側が、土砂崩れ。土砂災害は、左側が、指舟割れ。右側が、土砂崩れ。土砂災害は、左側が、指舟割れ。右側が、土砂崩れ。

■ 広島・土砂災害の教訓と備え



短時間で大量の雨水が谷筋に集まり、土砂崩れや土石流が発生した
—8月20日、広島市安佐南区

「まさ土」以外にも警戒を

「まさ土」以外にも警戒を。大雨による土砂災害の発生は、広島市に限らず、全国各地で発生しています。特に、土砂災害警戒区域（まさ土）以外の地域でも、大雨による土砂災害の発生リスクは高まっています。このため、大雨発生時には、まさ土以外の地域でも、警戒を怠らないうえ、避難先も確保しておくことが重要です。

東北大災害研 森口周二准教授に聞く

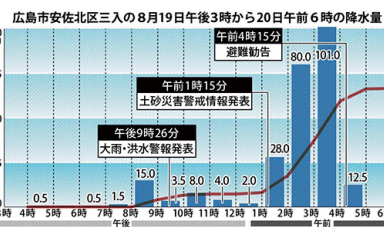
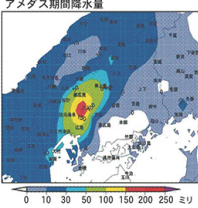


森口周二 東北大学准教授

森口周二准教授は、大雨による土砂災害の発生メカニズムや、避難先確保の方法について、詳しく解説しています。

考える

8月19日午前11時～20日午前9時までのアメダス期間降水量



地域の特徴把握して

地域の特徴把握して。土砂災害は、地形や地質、過去の災害履歴などによって発生リスクが高まります。地域の特徴を把握し、適切な避難先を確保しておくことが重要です。

探る

東北大准教授 後藤和久さん



後藤和久 東北大学准教授
防災・減災研究センター長
37歳 豊田出身

後藤和久准教授は、土砂災害の発生メカニズムや、避難先確保の方法について、詳しく解説しています。

■ 地層に残る痕跡解説 将来の災害予測に貢献

地層に残る痕跡解説。過去の災害現場から、地層に残る痕跡を調査し、将来の災害発生リスクを予測することが可能です。

■ 避難場所に津波迫る (石巻市雄勝町水浜)



伊藤博夫さん

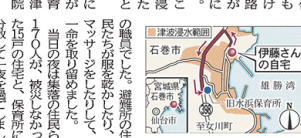
避難場所に津波迫る。東日本大震災の際、石巻市雄勝町水浜に津波が押し寄せ、多くの犠牲者を出しました。この経験を活かし、避難先確保の方法について、詳しく解説しています。

浸水は免れ生活の場に



大津波に襲われ、ほとんどの家屋が流失した石巻市雄勝町水浜—2011年3月29日 (石巻市提供)

浸水は免れ生活の場に。津波による浸水は、避難先確保の妨げとなります。浸水リスクを把握し、適切な避難先を確保しておくことが重要です。



自主防災組織の力に期待

自主防災組織の力に期待。地域住民による自主防災組織は、災害発生時の対応に大きな役割を果たしています。



鈴木正信さん(59)

鈴木正信さんは、自主防災組織の活動について、詳しく解説しています。

要支援者の防災訓練必要

要支援者の防災訓練必要。高齢者や障害者など、要支援者は、防災訓練に参加することが困難です。そのため、要支援者の防災訓練が必要とされています。

希望を引き継ぐのは君たちだ

希望を引き継ぐのは君たちだ。防災訓練を通じて、希望を引き継ぐことが重要です。



希望を引き継ぐのは君たちだ

希望を引き継ぐのは君たちだ。防災訓練を通じて、希望を引き継ぐことが重要です。